

# 先進事例報告シート

<b>市町村名</b>	筑紫野市			
<b>事例名</b>	eラーニング研修	<b>予算</b>	1, 430千円	
<b>実施期間</b>	令和6年8月5日 ~ 令和7年1月31日（令和4年度から実施）	<b>実施回数</b>	全 5 回	

## 1. 取り組みの概要

・職員が業務の都合に合わせて自分のペースで研修を受講することができるように、新たな研修形態としてeラーニングによる研修を導入した。筑紫野市では、職員全員（約500人）分のライセンス契約を行い、受講対象者を全正規職員としている。研修講座の中身は、「地方公務員法」「ハラスメント防止」「ワード・エクセル」など全般的なものから、「保育士の保護者対応」「保育士の児童対応」など専門的なものまで多くのコンテンツがあり、各課ごとに職員の受講希望講座を取りまとめて、人事課へ報告を行う。研修の受講が完了した職員は、受講した講座ごとにアンケートを提出する。各職員の研修受講状況は、eラーニングシステムの中で各課の所属長が把握できるようになっている。

## 2. 内容

<b>目的や特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的に幅広い知識の習得を図る学習機会を提供する。</li> <li>・eラーニングによる受講講座は、各職員5講座以上（係長以上及び新規採用職員は、うち必修3講座）で、所属長が受講状況を管理する。</li> </ul>
<b>経緯や背景</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で対面研修が難しくなったことにより、令和3年度に、動画による研修を実施したが、テーマが限られるため、eラーニングによる研修を検討し、令和4年度からeラーニング（当初メニュー数55）を導入した。</li> </ul>
<b>課題 （現状とあるべき姿）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合研修には出先機関の職員や窓口業務担当職員が参加しにくいという課題があった。アンケートでも参加が職員の負担になっているとの意見があった。</li> </ul>
<b>実施するために用いた技術や手法、アイデアなど</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度より公務員向けの教材が豊富にあるeラーニング業者と契約。基礎的・専門的な知識習得、行政課題に沿ったテーマや職責に応じた階層別メニューなど多様な研修講座（全3,513講座）を確保することができた。</li> <li>・各所属長は職員が確実に受講できるよう、受講状況の把握及び業務の調整を行う。</li> <li>・令和6年度は受講期間を令和6年8月5日（月）から令和7年1月31日（金）までとしており、研修期間を長期間で設定できることは、eラーニングの利点であり、職員の負担を軽減することができる。</li> <li>・意欲の高い職員については、希望すればいくらかでも研修講座を受講することができる。</li> </ul>
<b>成果や効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則勤務時間内での受講を想定しているが、職員は自宅のパソコンや通勤中の電車においてスマホやタブレットで受講することも可能であり、時と場所を選ばない研修環境は職員の負担を減らすことができている。</li> <li>・アンケートの結果、91%の職員が満足する結果となり、職員の満足度から研修形態や内容の有効性が確認できた。</li> </ul>
<b>今後の発展 応用や課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修後の職員アンケート結果の満足していない人の理由を把握し、引き続きニーズにあった見直しを続け、研修内容の充実に取り組むこととしている。</li> </ul>